



2016年4月号

# ロコへの手紙

発行責任者  
小野 義廣



## ロコ 17年間 ありがとう!

小野家唯一の長男だったロコが、天国へ旅立ちました。先月のとらきち君で「毎日100回ありがとうを言うぞ!」と決めた二日後でした。



朝方になり、ロコの体温が徐々に下がってくるのを感じました。栄養液をスポイトであげているときにボクの腕の中で息を引き取りました。

大きな声で泣きました。お店の仕事があったから、独りぼっちな時間が多かったロコ。もつともつと遊んであげたかったなあ。幸せだったかな?でも、一人で逝かなくて良かったね!ボクの腕の中で眠ってくれてありがとう!

「ロコ、今までホントにありがとう!感謝の気持ちで溢れかえっています。また来世でもいいからロコに会いたいね!」心臓も止まり、息もしていないのにまだ温もりのあるロコ。生き返るかも知れないと、何度も何度も泣きながら名前を呼びました。一番辛かったです。

翌日には最後のお別れをするつもりだったので、その晩は冷たくなったロコの頭をなでながら、ロコと二人で思い出話をずっとしていました。

生まれてわずか45日で小野家に来ました。「2週間は躰のためにゲージから出してはダメ」と言われていたのに無理でした。トイレの躰ができなかったので、17年間1日2回のお散歩がボクの日課になりました。言い迷惑だったでしょうが、研修で遅くなったときなど、夜中の2時、3時にも散歩してました。1万回以上も一緒に歩きましたね!ロコ…



17年間も一緒にいると、ロコはボクの体の一部のようになってしまいます。今はいないのに、自宅に上がるとロコがいたところを最初に見てしまう。朝になると、お散歩に行かなくちゃと思ってしまう。

17年間狂犬病の注射以外は、獣医さんのお世話になることはありませんでした。薬を飲んでいなかったので、ロコの骨は純白できれいでした。ロコ最後にもう一度「ありがとう」\*^\_^\*

ロコが生まれたのは、2000年10月21日です。血統書に書かれている名前は、  
ボウイ オフ ミッドランド クリア ジェビー  
「BOY OF MIDLAND CLEAR JP」と長い名前が付いていました。愛知県豊橋生まれです。

約17年間一緒に暮らしました。一昨年には、相模原市獣医師会から長寿犬として表彰もされました。でも、この頃から白内障が進み筋肉も衰えてきていました。歯周病で、歯もあまりありませんでしたが、食欲旺盛だったので安心していました。

最近では、目も見えなくなり、耳も聞こえず、嗅覚もほとんどなくなっていました。筋肉を落とさぬように、ロコのペースでゆっくりゆっくり、引っ張るようにお散歩をしていました。他人から見たら「なんて可愛そうなこと…」と思われていたかも知れません。

2月22日から、口元にご飯を持っていても食べなくなりました。2月24日には自力で立つこともできず、犬の死の予兆①ご飯を食べなくなる②動かない③時々手足がけいれんする④排便か下痢をする。全ての行動が見られました。スポイトで輝源とコンクレバンの薄め液を少しずつ入れてあげました

「そろそろかな…」その晩は朝まで、ボクの心臓の鼓動が聞こえるほど抱きしめながら、奇跡を起こす魔法の言葉「ありがとう」をずっと言っていました。笑いながら言おうとしているのに、涙が止まりません。